にいがた畜産協会たより

公益社団法人
新潟県畜産協会
新潟市西区山田2310-15
全農にいがた第2ビル内
TEL. 025-234-6781
～6783

にいがた和牛20周年記念大会　記念式典の様子

目　次

◆ 年頭のご挨拶 ……（2）
◆ 肉用子牛生産者補給金制度及び和子牛生産者臨時経営支援事業の実施状況について ……（3）
◆ 畜産経営セミナーを開催しました！ ……（3）
◆ にいがた和牛が誕生から20周年を迎えました！～にいがた和牛20周年記念大会の開催～ ……（4）
◆ 第21回協同組合まつりに参加しました！ ……（6）
◆ にいがた畜産女子会「料理レシピブック」を制作しました。 ……（7）
◆ 畜産安心ブランド生産農場だより 燕市：有限会社ツバメファーム（採卵鶏） ……（8）
◆ ちくさん女子の窓 ……（8）
◆ 編集後記 ……（8）

年頭のご挨拶

公益社団法人新潟県畜産協会
会　長　**伊　藤　能　徳**

明けましておめでとうございます。

令和６年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。また、日頃から、当協会の業務推進に格別のご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、新年早々に県内最大規模の養鶏場において高病原性鳥インフルエンザが発生し、その後も発生が継続し、県内５農場約270万羽が処分されました。今シーズンも国内で野鳥の陽性事例や養鶏場での発生が確認されており、引続き警戒が必要な状況です。

次に、５月には新型コロナウイルス対策が緩和され、社会経済活動が回復してきています。これに伴い畜産物の消費拡大等が期待されましたが、物価の上昇による消費者の生活防衛意識の高まり等の影響により、牛肉価格は前年を下回って推移しています。

また、飼料・資材価格の高止まりの状況が続き、今後の経営に不安を持つ肥育農家の需要が低下し、子牛価格も低下しています。

このため、肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）では肉専用種について、肉用子牛生産者補給金制度では黒毛和種について発動されました。

さらに、梅雨明け以降、高温と雨量不足が続き農作物の品質低下、収穫量の減少など大きな影響が出ました。畜産においても、死亡家畜の増加や搾乳量の減少、発育遅延、繁殖障害など例年と比べ大きな被害が発生しました。今後、暑熱対策は増々重要となりますので、早めの準備と実施が必要であると考えています。

このように畜産情勢が厳しい中、県内和牛の統一ブランドとして誕生した「にいがた和牛」が昨年20周年の節目を迎え、記念大会が開催されました。式典では橋本副知事を始めとする来賓の方々から御祝辞を頂戴するとともに、功労者の表彰やこれからのブランド力強化に向けた決意表明が行われ、長年の御功労に敬意を表するとともに、さらなる認知度や品質の向上に取組むことが確認されました。

今後も畜産をとりまく情勢は厳しい状況が続くことが予測されますが、当協会では、行政と連携して、経営コンサル事業、価格安定制度の運用及び家畜衛生事業等を的確に実施し、生産基盤の強化、生産性向上による所得の確保及び家畜衛生対策の徹底に取り組んでまいる所存です。

結びに、令和６年が皆様にとって希望に満ちた明るい年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

肉用子牛生産者補給金制度及び和子牛生産者臨時経営支援事業の実施状況について

飼料・資材高騰を始めとしたさまざまな要因により大きく変動している昨今の情勢に伴い、標題のことについて直近の令和５年７～９月の実施状況をお知らせします。

肉用子牛生産者補給金制度

【制度の概要】

●肉用子牛の価格が一定の基準以上に低落した場合に対応するためのセーフティーネットとして、従来より位置づけられています。

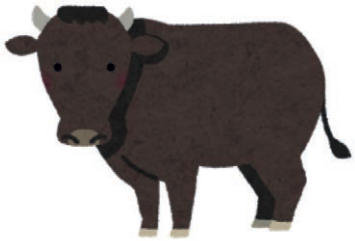
- 当県においては、黒毛和種について１頭あたり34,400円、全体として対象者59名に対して7,499,200円の生産者補給金が交付されました。
- 黒毛和種における交付は、21年ぶりになります。

和子牛生産者臨時経営支援事業

【制度の概要】

●肉用子牛のうち、特に和子牛の取引価格について支援をする事業として、肉用子牛生産者補給金制度を補完する形で臨時的に措置されています。

- 本県においては、黒毛和種について１頭あたり16,400円、全体として対象者46名に対して2,689,600円の支援交付金が交付されました。
- 本事業における交付は、本県では初となります。



畜産経営セミナーを開催しました！

12月12日、畜産経営者及び支援機関・団体等の担当者を対象として「世界情勢による飼料・資材高騰等の要因から厳しい畜産経営となっていることを踏まえ、経営管理を学ぶことで経営基盤の強化を図る」ことを目的とした畜産経営セミナーを開催しました。

コロナ禍により令和元年度以来4年ぶりの開催となりましたが、当日は会場（全農新潟県本部大会議室）とWeb（Zoom）によるハイブリット方式で計59名の多くの参加がありました。

講師に山崎農業経済研究所の山崎政行所長をお迎えし、畜産経営における資金管理について具体的な数値を用いた損益計算書や貸借対照表の解説、資金管理に失敗しない考え方や行動するべきこと等をご講演していただくとともに、経営継承や法人化についての解説もありました。

参加者アンケートでは、先生のパワフルでユーモアあふれる解説が分かりやすかったなど、多数の方から高評価をいただきました。

ホワイトボードを用いて解説する山崎所長

また、農林水産省北陸農政局新潟県拠点の三田晶子主任農政推進官から、新潟県における飼料生産の事例紹介がありました。動画を用いたサイレージ給餌やTMR利用事例紹介、活用できる国の補助金の説明、さらに稲WCSと子実用トウモロコシの実物展示もあり、参加者からは今後の国産飼料利用拡大に期待の持てる内容であったとの声が聞かれました。

にいがた和牛が誕生から20周年を迎えました！
～にいがた和牛20周年記念大会の開催～

令和５年11月10日にANAクラウンプラザホテル新潟（新潟市中央区）において、当協会が事務局を務めるにいがた和牛推進協議会主催で「にいがた和牛20周年記念大会」を開催しました。この大会は、平成15年10月に誕生した県統一ブランド「にいがた和牛」の20年目の節目を祝うとともに、関係者のブランド力強化に対する一層の意識の高揚、及び消費者への知名度向上と消費拡大を目指したもので、会員をはじめとした170名を超える多数の皆様からご参加をいただき、盛会裏に開催することができました。

記念式典

協議会 安藤副会長

前半に行われた記念式典では、協議会の安藤稔副会長（全農新潟県本部本部長）が、県や会員をはじめとした関係者の支援により、県内外の消費者及び関係業界に「にいがた和牛」はおいしいと認知されるまでに成長した、今後も一層のブランド力強化に取り組んでいくと挨拶しました。

来賓祝辞では、橋本 憲次郎 新潟県副知事、川合 規史 農林水産省北陸農政局局長、伊藤 能徳 新潟県農業協同組合中央会会長から、にいがた和牛のこれまでの振興とさらなる発展についてお祝いの言葉をいただきました。

新潟県 橋本副知事

北陸農政局 齊藤畜産課長（代理）

県農業協同組合中央会 伊藤会長

続いて、にいがた和牛誕生からの20年間の活動を紹介し、ブランド化の効果や今後の目標を報告したのち、小林 睦史 幹事長（全農新潟県本部畜産部長）が、①さらなるブランド力強化、②生産頭数の拡大、③おいしさを追求した「にいがた和牛」の提供を柱とした取組を推進していくとの決意表明を行いました。

また、功労者表彰では、にいがた和牛の品質向上と生産拡大に貢献したとして生産振興部門から３名と、銘柄確立と販売促進に貢献されたとして販売拡大部門４名に安藤副会長から表彰状・感謝状及び記念品を贈呈しました。

部　　門	功　　労　　者　　名
生産振興部門	長岡市　　田口 正一 様
	十日町市　　髙橋 勝美 様
	上越市　　渡辺 孝治 様
販売拡大部門	有限会社 鶴久肉店　代表取締役社長　　本間 裕一 様
	有限会社 鴨川館　　代表取締役社長　　長谷川 佐久信 様
	株式会社 ゼン 備長炭焼肉てんてん　代表取締役　　河内 善朗 様
	株式会社 湯沢重機建設 石打ユングパルナス　代表取締役　　池田 利幸 様

記念式典の最後には、鈴木 淳之介 副幹事長（株式会社三国代表取締役）が挨拶し、閉式しました。

記念祝賀会

後半に行われた記念祝賀会は、鈴木 勝也 副会長（株式会社三国取締役会長）が挨拶したのち、来賓の窪田 稔博 新潟県農林水産部長からいただいた乾杯の発声で開宴しました。会では、ご来場の皆様にとことん「にいがた和牛」を堪能していただくため、最上級の「にいがた和牛」を用意し、ロース肉のグリエをはじめとした、新潟県産野菜等も添えた料理４品を提供しました。

会の中では、今期の肥育名人のうち出席いただいた９名をご紹介するとともに、「にいがた和牛」生産への意気込み等について一言いただきました。

肥育名人の皆様

また、株式会社ワイオリキッチン 料理家 佐藤 智香子 氏による「家庭でも気軽にできる」をテーマとした「にいがた和牛」料理を２品作るライブキッチンを披露していただき、そのうち１品を来場者に提供し実食しました。

さらに、新潟県立大学学生による「にいがた和牛を広め隊」が実施した、ル レクチエを使用したオリジナルの焼き肉のタレの作成・販売など、にいがた和牛の魅力を広める活動について報告をしていただきました。

料理家　佐藤 氏

「にいがた和牛を広め隊」の皆様

会の中締めでは、田中 敏夫 新潟県肉用牛経営者会議会長から一本締めがあり、来場者から盛大な拍手があるなど、盛況に終わりました。

第21回協同組合まつりに参加しました！

令和５年10月29日（日）万代島多目的広場（通称：「大かま」、新潟市中央区万代島）で第21回協同組合まつり（主催：新潟県協同組合間提携推進協議会）が開催されました。

あいにくの雨でしたが、たくさんの来場者にお越しいただきました。

←畜産協会のブース

当協会のブースでは、新潟県の畜産や、にいがた和牛、にいがた畜産女子会の紹介をするとともに、「アンケートに回答してガラポン抽選会に参加しよう！」と「ちくさんクイズに答えてガチャでおもしろ消しゴムをあてよう！」のイベントを開催しました。

ガラポン抽選会では、新潟県内の畜産物（和牛や豚肉のレトルトカレー、卵、はちみつ、牛乳を使ったお菓子）などを景品とし、来場者の皆様に大変喜んでいただきました。

また、お子様を対象としたガチャでは牛や豚、アイスクリームやホットドッグなど、畜産に関するものをモチーフとした消しゴムを当ててもらい、楽しんでいただきました。

ちくさんクイズ＆ガチャの様子

宣伝をするぶたさん

コロナウイルス感染症の影響で５年ぶりの開催となった協同組合まつりでしたが、当協会も久しぶりのイベントで消費者の皆様とふれあうことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

来場者のみなさま、今回お世話になった関係者の方々、大変ありがとうございました。

にいがた畜産女子会コーナー

にいがた和牛コーナー

動物のぬいぐるみはやはり人気

にいがた畜産女子会
「料理レシピブック」を制作しました。

会員が携わる新潟県内の畜産物や六次産業化商品を紹介することを目的とし、この度「料理レシピブック」を制作いたしました。

新潟調理師専門学校の先生に監修を依頼し、全８品が掲載されています。
レシピをホームページにアップしておりますので、ぜひご覧ください。

YouTubeに動画も制作しました！
とても分かりやすい動画になっていますので、チェックしてみてください。

また、ブックがほしいという方がいらっしゃいましたら、お気軽にお問合せください。

レシピブックの表紙

（問い合わせ先：にいがた畜産女子会事務局　TEL025-234-6782）

- レシピ -

1　和牛のたたき　サラダ仕立て　アンチョビソース
2　豚フィレ肉　モッツァレラチーズ包み焼き　きのこソース
3　純白のコーヒーのブランマンジェ
4　卵と蜂蜜のマーラーカオ
5　トウモロコシと豚肉のあんかけご飯
6　親子鶏と長いものふわふわ焼き
7　牛乳茶碗蒸し
8　牛肉とトマトの炒め物

レシピの一部→

レシピ、動画はこちらへ

（公社）中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報
がんばる！畜産！7

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！
配信中の内容：総集編 若き情熱！全国和牛能力共進会　特別区／畜産DX特集　総集編　養鶏・養豚の今に迫る／コントラクターと連携　大分県高田牧場／他

◀スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産

（公社）中央畜産会　経営支援部（情報）　TEL03-6206-0846

畜産安心ブランド生産農場だより

燕市：有限会社ツバメファーム（採卵鶏）

－卵は物価の優等生－

我が家はずーっと稲作専業農家だったが「鶏は儲かる」と親戚のオヤジが話していたのを真に受けた。鶏を少しずつ増やし努力の日々を重ねたが、質素に暮らしているのに、借金が増えた。

家族や近所にお住まいの方たちにも迷惑をかけるようなザマで、いつも心は沈んでいた。

－たかが水されど水－

20年ほど前、縁あって水の大切さを知る出会いがあった。水は生体の大部分を占めること、水はいろんな情報を記憶するなど教わった。よく言う「水物」ゆえ効用など半信半疑だったがずーっと鶏の飲水として与えて来た。

昨年今年とその効用かな？と思わせる声があり、こんな嬉しいことはなかった。

－卵が高騰－

マスコミが、卵が高騰と報じた。でもこれまで安すぎただけのことだ。飼料はそれ以前から高騰していたが卵価に反映されなかった。鳥インフルの大量殺処分で出荷量が減ったからだ。他人の不幸で起きたことで素直に喜べない。明日は我が身かも。

－大事だと思う二つのこと－

約60年卵を生産してきてこれが大事なんだなと思うことが２つある。

① 消費者に直接売る努力

② 消費者が欲しがる品物を提供する努力

である。

「物価の優等生」など最も避けるべきである。

そのためにも安心ブランド農場認定は大切にしたいと思っている。

ちくさん女子の窓

養蜂経営：**橋元 かおり**（新潟市）

私は、４年前に主人がやっている「養蜂」という仕事を本格的に始めました。もちろん養蜂などはやった事がなく最初の頃は、何をするにもあたふたしてしまい大変でした。

しかし段々と、自然の中でミツバチと触れ合いながらハチミツを採る養蜂の魅力に惹かれていきました。

その反面、人と接する機会が少ない職業だと思っていたところ普及センターのご紹介で「畜産女子会」がある事を知りました。農業は、体力と力が必要な作業が多く男性が多い職業だと思っていたので女性が活動、活躍できる場所があるのだと嬉しく思いました。

まだ入会したばかりで会には参加できていませんが、これからいろいろと勉強していきたいと思いますのでよろしくお願いします。

編集後記

昨年は鳥インフルエンザの流行や円安による物価高など、畜産業界にとって厳しい出来事があった一方、新型コロナウイルス感染症が５類に移行したことにより、対面でのイベントや会議が再開されるなど明るい出来事もありました。今年はより明るい話題が多くなる年になりますよう、祈念申し上げます。

（編集担当：佐藤）